

経理部

岩谷 信哉

2014年入会
経済学部 卒



今までの経歴を教えてください

前職：監査法人にて会計監査・アドバイザー業務（10年間）→本会へ転職：経理部（5年間）（取材時）

現在のお仕事は？

協会全体の決算とりまとめ、税務、組織再編、資産運用

経理部で主に決算業務を担当する部署に所属しています。年度末決算及び月次決算の結果をとりまとめ、理事会や役員会に報告し、経営判断のための財務的情報を報告する仕事です。また法人税や消費税等の各種税務申告業務も行っています。本会は国内外に非常に多数の拠点を有しており、海外の拠点では現地の法令に基づいた決算書の作成や税務申告が必要となります。会計基準・税務基準も各国により異なりますので、世界中の様々な会計・税務に触れることができることは非常に貴重な経験であり、勉強にもなります。近年、本会は新たな事業への展開も積極的に行っていますので、組織再編にかかる業務や連結決算のための海外子会社の会計管理といった業務にも携わることができることも魅力です。その他に資金の管理や債券等の資産運用なども担当しています。

会社の重要な意思決定のための情報提供

決算書は企業の業績を表す指標ですので、数値の背景を把握し、業績の分析をすることが必要不可欠です。業績を分析するためには、単に数値を集計するのみでなく、市況の動向や為替変動といった経済環境や法規制、他社の動向、国の政策なども把握する必要があります。経理的な知識のみならず、より幅広い知識を身に付けることができ、自身の成長にも繋がります。決算や将来予測に関する情報は定期的に経営層に報告しています。間違った情報を報告すれば会社の方向性をミスリードする可能性もあるため、責任感を感じることも多いですが、会社の重要な意思決定の判断材料として利用される点でやりがいも感じます。

どうしてNKを選んだのですか？

異業種での経験や視点を活かせる職場

前職ではまったく別の業界で勤めており、前職の会社にとって本会は顧客でありました。当初は船級協会や海運業界の事も良く理解していませんでしたが、本会を訪問する機会が増えるにつれ、世界トップシェアを誇る非常に大きな団体であり、経営基盤の強い安定性に気付かされました。前職では多様な業種の企業を見る機会が多くなりましたが、その規模や業務の国際性は上場会社にも負けないレベルを有しています。また近年は事業の多角化、M&Aによりその規模も拡大しており、異なる業界での経験や視点が必要とされています。理系・文系を問わず異業種から転職された方の活躍の場は用意されており、自身のこれまでの経験を活かせると思い、応募しました。また社宅等の福利厚生が充実している点も非常に魅力を感じました。



就活中の方へメッセージ

多くの会社の中から就職先を選択することは、大変なことと思います。どのような仕事をしたいのか、どのように成長していきたいのか、数年後の自分を想像しながら励んで頂けたらと思います。体調管理には十分に気をつけ、面接では自分の思いを、自分の言葉で伝えることができたら良いと思います。